

## 宮古市立田老第一小学校

2014年 9月 3日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

### 【文献】

- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>
- (2) 「いのち」宮古市立田老第一中学校 津波体験作文集 2013年3月  
<http://rcrdm.iwate-u.ac.jp/wp-content/uploads/2013/07/ec5ecd76fdb49621ffb66b845cbf257.pdf>
- (3) 個人ブログ <http://disaster-i.cocolog-nifty.com/blog/2011/04/post-9863.html>

### 【場所】

海から約500mの位置にある。  
住所岩手県宮古市田老館が森115番地2

### 【東日本大震災による被害】

- 一部破損。(1)  
※津波は校門手前まで到達した。(2)



### 【震災当日の様子】

赤い範囲:宮古市

地震後、下校を始めていた児童を教員が連れ戻し全児童を校庭に避難させた。保護者が児童を迎えに来たが、校長らは津波の情報収集中であることを理由に留まるように説得した。しかし、1人の保護者が子どもを連れ出すと、50人ほどがそれに続いた。その間、防災無線が大津波警報を伝え、海の方を見ると空に土煙が舞っていた。「逃げろ」という声が出て、校庭にいた児童は学校の裏山に避難した。また、保護者と避難した児童が死亡したケースも報告されている。(3)

当時の児童の証言によると、「逃げろ」という声は教員の指示であった。また、水しぶきや瓦礫が押し寄せる様子を確認した児童もいた。(2)

### 【調査して言えること】

学校の敷地は少し高い土地の上に有り、標高は15mほどであった。海からの距離も近いため、津波が起こった際に、迅速な避難が必要な学校だが、校舎のすぐ裏が山になっており、高い場所への避難はしやすい学校である。

当時の児童の証言に、「お墓に逃げた」というものがあり、裏山にある常蓮寺の敷地内に避難した児童もいたことが分かった。常蓮寺内の墓地の一番高い標高は40mほどで、安全な高さであると言える。(2)

また、学校から防潮堤は近いが、方角的に直接防潮堤を見ることはできない。



校舎(2014/3/19撮影)



学校から約200m離れた防潮堤(2014/3/19撮影)



学校と裏山(2014/3/19撮影)